



旭が丘小学校だより

令和4年11月16日 23号

文責 校長

○校内持久走大会について

昨年度まで実施してきた持久走大会については、今年度から改善が必要であると思っています。それは次の理由からです。

- (1) 子どもたちの体力に明らかな変化が見られます。
近年の体力の減退に合わせて、コロナ禍により体力低下がうかがえます。体育の授業においても体力的に無理ができなくなってきています。
- (2) 目標を設定した体育活動を進めていく必要があります。
現在、教育活動で重視されているのは、目標に到達することをめざす学習活動です。体育の授業においても個人の能力に応じて目標を設定し、伸びを評価していくことが求められます。
- (3) 学習指導要領に持久走の取り組みについては「個に應じる」ことが重視されています。
学校の教育課程（「カリキュラム」といいます）は、学習指導要領をもとに展開されます。その学習指導に、持久走は動きを持続する能力を高めるために時間やコースを無理なく設定し、個々の能力を高めるようになっていきます。また、運動が苦手な子にも十分な配慮をすることが示されています。
- (4) 3学期制が導入され、11月12月の教育活動の見直しが必要です。
これまで本校では、11月中旬の授業参観後12月初旬にすぐ持久走大会があるという状況でした。さらに学期末の評価が重なっていたため、この時期子どもたちとしっかり向き合っていたかという課題がありました。そのため11月12月の行事等の見直しが必要です。

以上の理由から、今年度の持久走大会は、

- 決まった時間内での自身の距離の伸びをめざす、個の伸びを重視した取り組みに変えていく
- 各学年で授業の一環として実施する（もともとの体育の時間を中心に実施する）
- 参観については原則可能とする（学年だよりなどで紹介します）
- 次年度以降は11月の授業参観との兼ね合いも考慮し、さらに運営方法を改善していくようにしたいと思います。

走ることが得意なお子さんもたくさんいます。そのようなお子さんには任意ですが対外的な大会等を積極的に紹介し、挑戦することを促します。皆様のご理解ご支援をお願いいたします。

<おねがい>

学校には今大きな波がたくさん起こっています。私たちは波に押し流されることのないよう、子どもたちの様子を見ながら一つ一つを慎重に準備・実践していくことを大切にしていきます。職員の勤務の在り方についても大きな課題となっています。そのため本校では以下のとおり対応を進めていきたいと考えています。

- ① 今後年末～年度末にかけて、タブレットの持ち帰りを本格的に行います。ご自宅での活用についてご配慮いただくようお願いいたします。
- ② 勤務時間の関係上、出来るだけ早期の退庁を図りますので、ご連絡が必要な場合は早めにお問い合わせいたします。

